2026年度シニア選手権　予選ラウンド1日目
組合せ表

とき 2026年9月6日(日)
大垣カントリー倶楽部

アウトスタート(セルフプレー)

NO	時　間	名　　前	HC	名　　前	HC	名　　前	HC	名　　前	HC
1	7:32	古藏　正彦	3	村瀬　範泰	7	大道寺　俊	12		
2	7:40	髙田　五郎	3	小林　　孝	8	三池　　博	10		
3	7:48	森田　康彦	0	西村　秀樹	9	岩田　英司	10		
4	7:56	田中健治郎	+1	吉田　敏宏	9	服部　和靖	10	林　　靖	15

《注意事項》

●スタートの１５分前にフロントにてサインのない場合は、キャンセルと見なし失格とする。
●組合せの変更は行わないが、競技委員会において必要と認めた場合変更することがある。
●スタート時刻５分前には、必ずティグランド周辺に待機すること。

競技委員会

２０２６年９月吉日

２０２６年度　シニア選手権　競技規定

大垣カントリー倶楽部競技委員会

競技日程	予選ラウンド１日目	９月　６日（日）
	予選ラウンド２日目	９月１３日（日）
	決勝ラウンド	９月２０日（日）

競　技　の　条　件

競技規則　日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技ローカルルールを適用する。

競技委員会の裁定　競技委員は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

競技方法　**【予選・決勝ラウンド共通事項】**

（1）１８ホール・ストロークプレー

（2）男女ともに白マークを使用する。

（3）プリファードライ

（4）ＯＢは打ち直し。

●予選ラウンド

・予選ラウンド１日目・２日目の合計３６ホールのスコアによって、順位を決定する。予選通過は、８位までとする。

予選通過者にタイが生じた場合は、予選ラウンド２日目のスコアのマッチング・スコアカードにより順位を決定する。(次週の競技に参加できない競技者は、スコアーカード提出時に申し出ること。欠場者が出た場合は繰上げする。)

注１：マッチング・スコアカードの方法は、９ホールズ（１０番～１８番）の合計スコア、６ホールズ（１３番～１８番）の合計スコア、３ホールズ（１６番～１８番）の合計スコアの順で決定する。

注２：マッチング・スコアカードで順位が決定しない場合は、１８番ホールからのカウントバックにより決定する。

●決勝ラウンド

・予選ラウンド・決勝ラウンドの３日間の５４ホールの合計スコアによって、順位を決定する。

・５４ホールを終わり１位がタイの場合は、サドンデス方式を用い、№１Ｈから勝敗が決するまでプレーオフを行い優勝者を決定する。なお、３名以上でプレーオフを行った場合、２位以下の順位は決勝ラウンド１８ホールのスコアによるマッチング・スコアカードにより決定する。

２位以下の順位にタイが生じた場合は、決勝のスコアを優先とする。同等の場合は、マッチング・スコアカードにより決定する。

・入賞　優勝、準優勝、３位、４位、５位

表彰式は競技終了後、レストランホールにて開催します。

使用球の規格　競技者の使用球はＲ＆Ａルールズリミテッド(ＵＳＧＡ版)発行の最新の公認球リストに載っているものでなければならない。本条件違反の罰や処置は『ゴルフ規則 4.2a』を適用する。

競技の終了時点　本選手権競技は競技日の競技委員（もしくはその代行者：大垣カントリー倶楽部マスター室）の成績発表時点をもって終了したものとみなす。

プレーを終えたばかりのグリーン（周辺）での練習禁止（規則 5.2）

競技者はプレーの終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで、練習をしてはならない。またプレーを終えたばかりのホールのグリーン上で球を転がしてはいけない。これに違反した場合、競技者は次のホールで２打罰を受ける。ただし、ラウンド最終ホールでのときはそのホールで罰を受ける。

移　　動　本選手権競技は、乗用カートを使用することができる。

ローカルルール

１、コースの境界は白杭で標示する。修理地は青杭または白線をもって標示する。

２、電磁誘導カート用の２本（または３本）の人口の表面を持つ軌道は、全幅を持ってカート道路とみなす。（軌道の間に停止した球をストロークすると電線を切断する恐れがあり、球がカート道路上にある場合、競技者はゴルフ規則 16.1a の救済を受けなければならない）
このローカルルール違反の罰は２打。

３、クローズド（ｃｌｏｓｅｄ）の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地（ジェネラルエリア）とし、その上に球が止まっているか、スタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則 13.1f(2) の救済を受けなければならない。規則 13.1ｆにより拾い上げた球は拭くことができる。
このローカルルールの違反の罰は２打。

４、競技において、距離測定器（２点間の距離の測定のみ）を使用することができる。

５、No.２Ｈ、No.１５Ｈにおいて球がペナルティエリア（赤杭）に入った場合、前方のドロップエリアを使用してはならない。

６、No.４Ｈにおいて、球がグリーン奥修理地（青杭）に入った場合、前方のドロップエリアを使用してはならない。

７、No.１３Ｈにおいて、球がカート道路を超えた場合、前方のドロップエリアを使用してはならない。

８、No.１０Ｈ、No.１８Ｈにおいて、第１打目が球の所在に関係なく黄縞杭を超えた場合、前方のドロップエリアを使用してはならない。球が黄縞杭の線上限界を最後に横切った地点からホールに近づかず、２クラブレングス以内にドロップし、1打罰を課してプレーしなければならない。第２打目以降も同様の処置とする。

９、ハーフ間で練習場でのパター練習をする事ができる。

注　意　事　項

１、　競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、マスター室付近に告示する

２、　プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。

３、　プレー時、安全上・健康上必ず着帽（ひさし付）すること。

４、　競技者は、ナビへのスコア登録を行わなければならない。ただし、競技終了後のスコアアテストは従来通り行う。

以上